

## 取組概要

2022 年 1 月 21 日

(あて先)  
埼玉県立大学 学長

候補者 所属学科 理学療法学科  
氏 名 村田 健児

私の取組は次のとおりです。

私の考え方の一つに「ROEE」、Results Only Education Environment というものがあります。「ROEE」は、「ROWE: Results Only Work Environment」の造語であり、簡単に言えば「結果のみが求められる職場環境(Work)や教育環境(Education)」と訳されます。すなわち、私が行っている「ROEE」は学生にはやらなければならない課題を提示し、学生自身に課題達成の過程に責任を与え、結果を出すための自主性を持たせることを意識させています。それは研究室やゼミなど小グループや個人を対象とした小さな単位の課題もあれば、学年担任として集団に対してもクリアする課題を明確化し、学生自身が考え、主体的に動くことができる環境を提供しています。但し、最終的な責任は教員が持つべきであると考えのなかで、教員が与える課題の難易度を学生個人に合わせて考慮することで学生自身が持つべき責任の大きさを明確にします。

例えば、「ROEE」が求められる一つのケースとして国家試験への取組が一つ上げられます。2005 年に発表された ARIELY らの研究では、タスクが機械的で

ARIELY らの研究から考える ROEE (2005)

タスク (作業内容)	具体的学習	効率性を上げる方法
単純作業・機械的 (知識を蓄える)	国家試験勉強 選択式試験	成果報酬型 (アメとムチ) (報酬として何かを与える)
思考的作業 (考える・過程)	研究・記述式試験 レポート	内的動機付け型 (自分で気づかせる)

あるものは成果報酬が効果的であると報告しています。数年目の理学療法士が国家試験を受けると合格点に届かないように国家試験の内容と臨床現場での業務が乖離していることは一般的に認知されています。これは様々な要因・原因・環境を考えなければならない臨床現場と違い、国家試験は単純かつ答えが明確、目標

点は168点とはっきりしています。すなわち、国家試験についての勉強は知識を蓄える単純作業と捉え、成功報酬型でうまくいくだろうと仮説立てています。具体的には、〇点以上は集団学習なし等の成果報酬型の課題をファシリテートし、方法・過程については学生の自主性に任せています（必要な資料の提供は行います）。しかし、この場合のリスクは学生の勉強への取り組み方に能力差が大きくでることです。この場合、私自身の責任は学生にごとにアドバイスを变えることであり、コーチングを中心に実施します。被推薦理由の一つである「国試対策でも一人ひとりに対してコメントやアドバイスをしている姿を見て、生徒のことをすごく考えてくれていると実感しました」という点についてはご理解いただいたものと考えます。

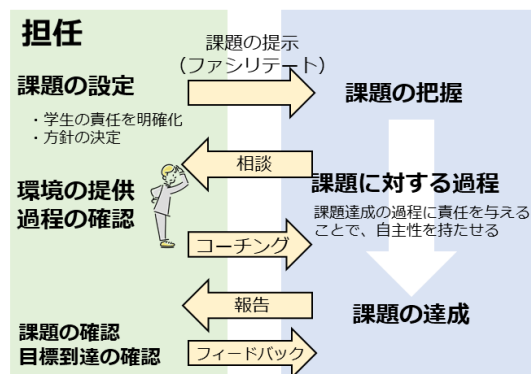
一方、一部の学生や講義、研究分野等については異なった指導方法が必要となります。やれと言ってやる学生が多くないことは理解していますし、最低限の課題をクリアしていることを条件とはなりますが、極端な言い方をすればやりたくないことはやらなくてもいいと声をかけます。学生自身が目的を持って行動できるように流れる方向だけ決めてあげるファシリテート、様々な流れ方を教えてあげるコーチングの双方を使い分けることによって、学生自身が主体的に動くことができる能力が向上できれば、人格形成・社会性の育成、延いては人間力の向上に展開できるものと考えます。その点に気づくことができるかが、10年、20年先の人間力を決めていくものなのではないでしょうか。学生の行動には何か理由があります。その理由を探っていくことは日々の取組として無意識に行っているのかもしれない。

### 【授業について】

被推薦理由での「授業がわかりやすい」「要点がまとまっている」というご意見について大変光栄に思います。授業について特別な取り組みをしているわけではありませんが、心掛け実践していることについて記載させていただきます。

はじめに、わかりやすい授業をするための方法は2通りあります。一つは授業内容そのものを簡単にすること、もう一つは授業の概要・まとめを冒頭に行うことです。前者について簡単かどうかの判断は学生の主観となるために、私自身は後者の授業進行を提供し、学生に興味を持たせる時間帯を作ることを心掛けます。

例えば、授業内容に興味がある学生は90分間主体的に聴講することができます。そのような学生は授業内容も理解できるので、学生自身がわかりやすい授業と認識しているのかもしれない。一方、当然40名もいますので、大学教育とい



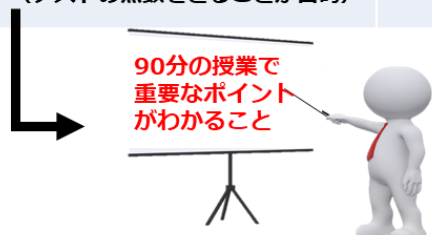
取り組み内容のROEE：Results Only Education Environment概略図

う大枠のなかで興味分野のベクトルが違う方向を向いている学生も一定数はいるはずですが、そのような学生については、残念ながら 90 分間の授業を主体的に聴講することは困難であり、「寝ないでください」「聞いてください」と言っても、その効果は数分の一時的効果です。前述した 2005 年に発表された ARIELY らの研究では、タスクが機械的であるものは成果報酬が効果的である一方、考える能力が必要となるタスクは報酬が成果を低下させると報告しています。このことは、「ここテストにでます」という教員の声掛けは学生にとって報酬となりますが、単純な選択形式の試験の正答率を上がり、考える能力の必要な記述式の試験への対応ができないものと感じます。故に、テストの出る範囲や解答を教えても、学生の高得点の条件とはなりません。

この場合、内的な動機付けが重要であり、どのように短時間でも主体性を持たせるかが重要になります。授業の概要・まとめを冒頭に行うことによって、聞かすべきポイントをはっきりさせ、伝えたいスライドに学生の注意を引くことが可能となります。また、ストーリーテリングを心がけたプレゼンテーションが結果として学生の主体性を引き出し、授業を聴講するようになります。しかし、ストーリーテリングの資料ではカリキュラム・ポリシーの一つである国家資格・実践能力の習得に向けた授業への限界があるために、教科書の読み上げはオンデマンドで代用しています。新型コロナウイルスの拡大によって、対面で授業を行う機会は大きく減少し、WEB ではストーリーテリングの活用がしにくい中、明確に教科書的な提供する授業、すなわちカリキュラム・ポリシーの一つである国家資格・実践能力の習得に向けた授業と対面での授業を明確にわけることによって学生がどのように自分から授業に参加をするため準備をしています。また、学生への伝え方は、日頃より TED などのプレゼンテーション番組で研鑽を継続し、様々な情報を得ることでボキャブラリーや比喻方法、知識のアップデートを図ります。被推薦理由での「授業がわかりやすい」「要点がまとまっている」というご意見については、主体的に学生に部分的に興味を持たせる時間を作ることを心掛けること、全体この点を評価していただいたものかと存じます。

学生に興味を持たせる時間帯を作る方法とは？

学生の種類	理解	試験	対策
授業の分野に興味がある学生 (主体的に授業に取り組める)	○	○	主体性を尊重、ストーリーテリングでより興味を引く
授業の分野に興味がない学生 (テストの点数をとることが目的)	×	△	成果報酬型：重要なポイントだけを冒頭で紹介



### 部分的に主体性を引き出す



教科書の棒読みは  
ビデオオンデマンドで対応

### 【学生への指導、面談などについて】

こちらについても特別な取り組みをしているわけではありませんが、常日頃から学生にお願いしていること、心掛け、実践していることについて記載させていただきます。

まず、其々の学生には育った環境、個性や考え方があることを認識し、学生を尊重し、学生が自分で決定するプロセスを提供することが重要と考えます。将来どうすべきか、人間関係がうまくいかないなどの相談をよく受けますが、選択肢をできる限り多く提供し、自分の意思で決定させることが重要です。学生個人に対しては「教員が方針を決めないこと」「自分で決断させること」この2点を意識しています。

但し、大学院か就職か、急性期か回復期かなど二者択一の質問がきたときは対応に注意をします。その理由は二者択一の場合、学生は2つの選択肢をまったく半分の50%50%で悩んでいるのではなく、内心ではどちらかに決まっているケースがほとんどだからです。要は、自分の決断を後押ししてほしい段階にあります。この場合、学生自身の内心を整理する事だけを心掛けます。人はきれいに50%ずつ悩むことはありません。決して「的確なアドバイス」をしているわけではなく、学生自身を尊重し、主体的に決定をすることができていることこそが被推薦理由で「親身」「学生を人間として扱ってくれた」との評価していただいたものと存じます。

さいごに、このたび被候補者とのことですが、本学の主役は学生であり、学生が自分で物事を決め・責任を持って行動する、ごく基本的なことを陰ながら応援することが担任・副担任の役目であると思います。その過程のなかで、

「ROEE」を心掛け、不足している部分に対してファシリテートやコーチングを介して、丁寧に仕事をする、丁寧に人間と接することを心掛けています。故に、私自身の取組として形となっているものは少ないかもしれません。いつか本学を卒業した学生方と保健医療福祉分野だけでなく様々な職種の社会人として、お会いできることを楽しみに日々試行錯誤をしながら業務に邁進しているところであります。

以上、長くなりましたが、取組概要についてご報告させていただきます。